

松戸ロータリークラブ

【2010-11年度国際ロータリーテーマ】

地域を育み、大陸をつなぐ

Building Communities,
Bridging Continents

[第2673回例会]

会 報

No.2672

2011年4月27日 発行

●四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

●THE 4-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?



地域を育み、大陸をつなぐ

本日のプログラム

2011年4月27日(水)

卓 話

「福島原発と“発がん”についての考察—やはり玄米菜飯」

島村 善行 会員

次回のプログラム

2011年5月4日(水)

休 会

「定款第6条第1節により」

- 例会日 毎週水曜 12:30~1:30
- 例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム
TEL: 047-364-1111
- 事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F
TEL: 047-366-2266
FAX: 047-361-2255
U R L : matsudo-rc.com
E-mail : info@matsudo-rc.com

- 会 長 伊原 清良
- 会長エクト 常盤 映彦
- 副 会 長 加藤 栄
- 幹 事 松田 茂一
- 会 計 加瀬 仁
- 会報委員 松本 幸夫 申 澈権 太田原慎一
- 山田 達郎 澤田 正宏 土肥伸一郎
- 加瀬 仁 車田 善教 浅井 利明
- 三国 大吾

「巨大地震の 松戸行政」

松戸市長

本郷谷健次 様



松戸市長の本郷谷健次でございます。皆様には日頃からお世話になっております。

3月11日午後2時46分に発生したマグニチュード9.0の大地震は1000年に一度という大災害であります。皆様もい

ずれかの場所で被災されたことと思います。松戸市内では全壊は5棟にとどまり、大きな人的損害もありませんでしたが、八ヶ崎消防署の周辺では液状化も発生し、約1m程度の段差も生じて、通行止めと致しました。

当日は市内でも避難者が発生し、さらに1000名超の帰宅難民も発生しました。このため、20ヶ所以上を避難所として設置し、食料・毛布・暖房等を提供致しました。また、6号線を徒歩で帰宅する人達のために、6号線沿いの2ヶ所の学校を避難所として開放しました。

計画停電については市内が3グループに分かれました。計画通りの実施の有無が不明確であり、コンピュータ等の設備類はいったん電源を落とすと立ち上げに時間を要するため、困りました。一番心配したのは家庭内で生命維持装置を使用されている患者さん達ですが、医師会のご協力により事なきを得ました。

飲料水は金町浄水場での放射線検出を受けて、同じ江戸川から取水しているため、幼児の摂取を制限し、飲料水の配布等を行いました。東京都は自ら給水しているので直ちに検査結果が出たのですが、県営水道は1日遅れ、松戸市営水道はさらに1日遅れで検査結果が出てきました。放射線量は幼児の摂取制限に抵触するレベルにとどまりましたが、これが成人の摂取制限に至る放射線量であれば大変でした。

福島県からの避難者は3月15日に松戸市に到着しました。原子力発電所での爆発を受けての緊急

避難ですから、受け入れ先等も未定ということで、松戸市としても15日朝から受け入れ対応を開始しました。ピーク時には約300人の方々が19ヶ所の避難所で生活されました。一時は400名に達する多数のボランティアにご協力をいただき、多くの支援物資も集まりました。避難者の方々にはとても感激していただきました。

南相馬市との間では矢切のサッカーチームが交流していた縁で、廃校が決定している県立矢切高校を千葉県との交渉の上で避難所と致しました。南相馬市としては500人～1000人というまとまった単位で動きたいとの意向があり、二十世紀ヶ丘のJR東海の社宅をご提供いただくことになりましたし、市民からもアパート等の無償提供の申し出がございました。

私は南相馬市にも行ってまいりました。津波に襲われた海岸線は瓦礫ばかりで、3月11日に時計が止まってしまった状態です。南相馬市の1/3は原発から20km圏内で立入禁止区域です。もう1/3は原発から20～30km圏内で屋内待避区域となっており、自動車は走っているものの人気はありません。

南相馬市民は約7万人ですが、市外退去者が多く、市内には2万から3万人が残っているようです。南相馬市長に伺ったところ、「市民がどこにいるか、殆どわからない」、「市職員の手が足りない」とのお話でした。

松戸市は避難者を100世帯以上は受け入れる方針です。前述の社宅等への入居者には1家族当たり10万円の支度金を支給するほか、市内小中学校への入学生徒には支度金として6～7万円を支給致します。

本日、松戸ロータリークラブ様から頂戴致しました義捐金も、このような支援の一環として、必ず有意義に使わせていただきます。ありがとうございます。

松戸市が受け入れる避難者のうち、1/3は南相馬市、1/3はいわき市、残る1/3はその他の原発周辺市町村からの方々となります。これを受けて松戸市がどういう体勢でやっていくかが問題となります。

街が復興するには人が戻る必要がありますが、放射線の問題が解決しないことには戻れません。避難者に対しては故郷がどうなっているかという

情報提供が必要であり、松戸市としてもこれを担当する部署の設置を検討しております。

松戸市は行政としてはできる限りの対応をさせていただいたと思っております。一方、ボランティアは社会福祉協議会が中心となっておりますが、行政と市民のマッチングの難しさを感じております。行政と市民がどのように共同戦線を張るかということです。

避難者の受け入れ開始以来、100件以上のお宅

からホームステイのお申し出をいただきましたが、やはり避難者としても個人のお宅で同居するというのは難しく、実際には2～3件にとどまっております。

今回、このような大震災の中での危機対応ということで、良い経験をさせていただきました。松戸市としては、今後、是非、行政と市民の方々の手を繋いでいきたいと思っております。

本日はありがとうございました。

第2672回例会

例 会 報 告

2011年4月20日

会 長 挨 拶



伊原清良 会長

松戸市長本郷谷健次様、松戸東ロータリークラブの渡辺剛様、ようこそお越しくださいました。

松戸ロータリークラブは、昨年11月25日に松戸市立松戸高等学校への楽器を贈呈させて頂きました。当日は本郷谷市長や教育長にもご参列頂きました。そして本日は、台湾の『台北天和扶輪社（ロータリークラブ）李幼玲社長（会長）よりの義援金2,137,000円』をそのままそっくり松戸市に寄贈させて頂きます。天和ロータリークラブの皆様には、心より感謝を申し上げます。有難うございました。

報道によりますと義援金が被災地まで届かないとか、善意が泣いているなどとあります。松戸ロータリーらしさは、『青少年の育成に貢献し続ける』であります。これから問題提起されてくるであろう巨大地震による震災孤児への支援など、ハンデを背負った青少年たちに対して『あしながおじさん』的に使って貰いたくお願いする次第であります。

あまり報道されていませんが、今回の震災で、すぐにトルコから163名もの支援隊が来日しました。中国からは15名でした。明治時代に和歌山県沖で難破した軍艦・エルトゥールル号からトルコ人を助けました。飢饉にあえいでいた村民たちが

家の地下に保存してあった種芋を掘り出して料理したり、鶏まで料理して介抱したという話は有名です。その後はトルコ地震への日本の救援隊がトルコへ。イランイラク戦争でのトルコ航空機による在留邦人215名救出があり。次々と善意の連鎖は続きます。それはトルコの子供たちにしっかりと語り継がれているという事実です。以前、偶然に見たテレビでトルコの子供たちが口々に「エルトゥールル号！」と言っていたのには驚きでした。その瞬間、私はエルトゥールル号を知りませんでした。

同じく台湾の天和ロータリークラブにも、日本が大好きなDNAが流れていると思います。

『台湾は今日も日本晴れ』という本もありますが、今回は『トオサンの桜』という本を読む機会を得られました。作者は平野久美子さん。散り行く台湾の中の日本。「トオサン」とは、台湾で「多桑」と書き、日本語の「父さん」に漢字を当てはめたものです。日本語族とも言われ、戦前・戦中に日本と触れ、今でも日本語を話し、日本精神を理解し、日本を愛する世代の人々のことを言う台湾語です。戦前の公学校に運よく行く事が出来たトオサンは言います。「私は日本の公学校に行けたから、何とか成功できた。兄や妹たちは公学校に行けなかったから、一生他人の田んぼを耕して死んでいった。」国民党の蒋介石らからの迫害の話もひどい……。

かつて日本人であり、今尚日本への愛情を持ち続けるトオサン達を気にもかけない今の日本。また彼らが大事にしている日本精神とは何なのかさえも消えかけている今の日本。彼らの声を聞くと、

我々は取り返しのつかない物を忘れてきてしまったような感情に襲われます。トオサン達の次世代や日本人に伝えたいことは時間を守る、勤勉、努力、正直などの日本精神がトップ。台湾をもっと理解して欲しい。日本には誇るべき伝統や文化がある。いかなる、民族に対しても尊敬と友情をもってほしい。中国に対して土下座外交はしてくれらな、などと続きます。

東日本大震災という国難になっても、何故「オールジャパン体制」がとれないのでしょうか。経済力、軍事力を見た時に、日本が日本であり続けるための気概、国家観を確立していくべき時期にきています。このままでは私たちの「サムライ日本」が奈落の底までいきそうな気がします。

例会報告



～義援金寄贈～
伊原会長より松戸市長 本郷谷様へ

幹事報告



松田茂一 幹事

1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内
特にございません。

2. 外部からの会議・連絡事項等の案内
特にございません。

3. 他クラブ会報・その他
会報が銚子RCより届いています。

4. 例会変更の連絡
・沼南RC
4月21日(木)の例会は4月22日(金)に第10分区合同夜間例会及びゴルフ大会に変更
点鐘 18:00
場所 ザ・クレストホテル柏
4月28日(木)の例会は4月24日(日)の地区協議会終了後の例会に変更
点鐘 17:30
場所 中華料理 香蘭
5月5日(木)の例会は祝日により休会

5. その他報告
特にございません。

[出席報告]

会員52名	義務会員43名	免除会員 9名
出席42名	義務会員35名	免除会員 7名
仮欠10名	義務会員 8名	免除会員 2名

[欠席者]

常盤 映彦君	島村 善行君	島村 俊充君
大川 吉美君	松葉 則明君	田原 晨暁君
中田智次郎君	土肥伸一郎君	

本日出席率 84.0%

[お客様]

渡辺 剛様 松戸東RC

[ゲスト]

本郷谷健次様 松戸市長

ニコニコBOX

小林 登君 / 所用のため早退させていただきます。

ニコニコBOX	当日¥ 1,000	累計¥ 1,062,000
財 団BOX	当日¥ 3,942	累計¥ 140,830

文責 / 浅井